

令和 2年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	荻原幹子
		全体計画						経費区分		-		内線	3354
事務事業名	5860 特定保健指導事業												
所 属	100600 健康福祉部・健康づくり課												
施 策	01010200 地域医療を支える体制づくり												
予算 科目	会計	11 国民健康保険特別会計											
	科目	040201 保健事業費・特定健康診査等事業費・特定健康診査等事業費											
	事業	010200 特定健康診査等事業・特定保健指導事業											
事業目的						事業概要・効果							
生活習慣病の予防 特定保健指導目標実施率60%						糖尿病等生活習慣病対策として医療保険者に特定健診・保健指導が義務づけられている。高血圧、糖尿病の発症予防及び重症化予防を実施することにより、医療費の適正化を目指す。							

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
特定保健指導実施率目標 50% 特定保健指導の実施 45.1% 尿中塩分測定 461人 平均9.7g 集団運動実践	特定保健指導実施率目標 55% 特定保健指導の実施 50.7% 尿中塩分測定 478人 平均9.6g 集団運動実践 46回 延べ417人参加
平成29年度 実績	平成30年度 実績
特定保健指導実施率目標 60% 特定保健指導の実施 49.2% 尿中塩分測定 411人 平均値9.7g 集団運動実践 46回 延べ338人参加	特定保健指導実施率目標 51% 特定保健指導の実施 41.3% 尿中塩分測定 400人 平均9.6g 集団運動実践 46回 延べ306人参加
平成31年度 実績	令和 2年度 予定
特定保健指導実施率目標 52% 特定保健指導の実施39.9% 尿中塩分測定 556人 平均値9.7g 集団運動実践 46回 延べ364人参加	特定保健指導実施率目標 54% 特定保健指導の実施 尿中塩分測定 集団運動実践

指標名	特定保健指導年間実施率				
算式	(特定保健指導修了者÷特定保健指導対象者) × 100				単位 %
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標	55	60	51	52
	実績	50.7	49.2	41.3	(39.9)
指標選定の理由	第2期須坂市国民健康保険特定健康診査等実施計画に基づく(～H29) 第3期須坂市国民健康保険特定健康診査等実施計画に基づく(H30～)				
最終年度 目標の根拠	国の目標に準ずる				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成31年度 決 算	令和 2年度 予 算
事業費		1,983	3,714
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		1,983	3,714
人員数(人)	正規職員	2.3	2.5
	嘱託職員	0.8	0.9
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	16,709.5	18,162.5
	嘱託職員	2,263.2	2,546.1
	臨時職員	0.0	0.0
	計	18,972.7	20,708.6
市民一人当たりの経費		0.4	0.5
総額		20,955.7	24,422.6

(単位：千円)

平成31年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	20	謝礼 20
11節 需用費	817	消耗品費 704 印刷製本費 113
13節 委託費	248	健診データ分析ソフトサポート委託料 66 健康教育・保健指導委託料 182
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	898	臨時職員賃金 834

(単位：千円)

令和 2年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	160	研修会謝礼 100
10節 需用費	989	消耗品費 750 印刷製本 200
12節 委託費	469	健診データ分析ソフトサポート委託料 66 尿中塩分測定委託料 14 健康教育・保健指導等委託料 178
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	47	保健指導者養成セミナー負担金 44
その他	2,049	会計年度任用職員報酬 86 旅費 5 郵便料 200

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、生活習慣病予防対策を実施しており重要である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	保健師、管理栄養士による保健指導を実施し、生活習慣病を予防し、国民健康保険制度の維持と、個人の生活の質を保つために貢献している。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	保険者努力支援制度では、予防活動が重視されており、今後さらに予防・健康づくりをすすめることにより、財源確保が図られ、結果的に被保険者の保険税負担の軽減につながる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

家庭訪問や個別指導に対応できる保健師、管理栄養士の確保と保健指導率の向上が課題である。年度後半において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため対面での保健指導が難しい時期もあった。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
一人ひとりに合った生活改善をすることが、生活習慣病予防や重症化リスクを減らすことにつながる。医療費適正化の面でも効果があり、継続して健康増進を図る。		保健指導は生活改善の支援として重要であり、継続不可欠	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	